

2010年をふり返り、

二千自由年。僕にとり、これは本当に学びの年でした。

今年はぜったい...年になるぞー!というウツサでスタートした
2010年。昨年末にぎっくり腰になり、こまるまる2週間。

全く動けないという初めの体験をさせてもらい。

ケガの功名で、体をケアし、自分の体と向き合う事から始まった。

今までは、勢いだけで乗り切っていたが、体を柔らかくする事

に努め、ストレッチや体操、ヨガ、均整、整体と、見境なく

いろいろなお事を取り入れ、健康を維持できた一年だった。

高校時代の体重に戻り、体が軽くなった。でも、スリミナも

付いた。しかし、本来持っているサボリぐせが顔を出し、

三日坊主になり、たり、すぎ、飽きたり、体は変わっても小遣格は

変わらない様だ。体と精神はイコールで、いつか疲れの無い

体で居たいのだが、ついつい飲みすぎ食べすぎ、体を冷やす

と言われている物も、相変わらず魅力的に思ってしまう。

体と精神、いつも健康で居たいものだ。

また、今年は、イヤでも命について考えさせられた年だった。

近い友人が二人も他界した。哀しいとか、さみしいとか

悔しいとか、思ってしまう。何一つしおぼろしくなかったこと

無念だった。ケガしたとか嫌われたとかおじいちゃんにならな

んじやない。もう一生会えないのだ。

一緒に曲を作り、笑って笑って、真剣に語り合っ、共に戦っ、

一緒に遊びまくった。二人共、僕の大切な先生だった。

でも、不思議なことに、逆に、生きていた時よりも身近な存在になった。お母さんが他界した時も、感じた事だけが自分の中に入った。彼らのメッセージも受け継いでいく使命を授かった。一足先に逝ってしまった彼らに、今彼等、助け合、ていきたい。

生活もガラリと変わった。2年前からやみくもに始めた埼玉・ときがわ町の火田も、やればやるほど面白くなってきた。少いけど、収量も上がったし、順調、順調。どうせ月に何度かこちに来るならと言われ始めたときがわ町体育会館での投げ金魚でのワークショップ。全く期待せず、まあ練習になればと思っ、始めさせてもらったが、なななんと、気が付けば集まった仲内はみんな農業関係者ばかり。火田を手伝ってもらったり、苗をいただいたりとか、めっちゃラッキーな事。百姓友たちが一気に増えた。本当、ジンバに感謝!! 来年は、田んぼにもチャレンジさせて頂くことになった。少いけど、真剣に時間をかけ、やっていきたいと思ってる。そい、絶対に、みんなが気楽に暮らす農国ができた最高だなあーと思っ、ています。得、だね。

今年は音楽活動も売定にいた。本当に、今までに無い、位、いろんな人とセッションさせて頂いたり、新しくバンドに参加したり、サユのオトナも新しい作品を発表できたりめっちゃくちゃ勉強させて頂いた一年だった。

ハタチ前後の若手から、73歳の先輩まで、まさに音楽にはカベがない。話をするより楽チンだ。

自分の音楽を聞きに、会いに来る下さるお客様や、友人を本当に心の底からありがたしいと思える。この職業を誇りに思っています。

人しんしんがっながるスピードもものすごく速くなる。自分のまわりも、人のほなしも周りに、もう不思議にも思えない位、いろいろな出来事か走っている。

人内が、心も動きたか、という。つながりたか、という

社会、形態も崩壊しかけている。果ては、ずる賢い奴の時代は終わった。自立の時代。

自然体が生きやす、時代。自分とやり直し、やさしい人になり、人に尽くす。笑顔も忘れず、ユーモアも忘れず、人と一緒に元気になる。エネルギーの交換。物の時代が

終わる。お金の時代が終わる。情報に流されず、毒舌も誠意を持つ。全この事に向き合、許し、受け入れ。

来たる2011年、今年よりよりよい年になつたらしい。なごうさぎ年、飛躍の年、翔びて翔びて、おもいおもしく

2011年もよろしくお願、致します。絶対に、戦争だけは強く反対します。

2010.12.22 奈良大介 